

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report 例会場 名古屋グレストンホテル TEL 052-264-8000 例会日時 木曜日 12:30 クラブ会報編集委員長 安藤 正道 HP http://rc.nagoya-seinan.org/	 世界へのプレゼントになろう	承認	1995.3.28
		会長	岩田 宏
		幹事	若原 正幸
		事務局	名古屋市中区栄 3-29-1 名古屋グレストンホテル 1007号
		TEL	052-263-1324
		FAX	052-263-0730
		Email	seinan1@fancy.ocn.ne.jp
2015-16 年度 R.I. 会長 K.R.ラビンドラン			
岩田 宏会長年度目標： 他クラブと友好の輪を広げ 名古屋丸の内ロータリークラブを知ってもらおう			

第 988 回 例会 No. 33 平成28 年3月10日(木) 晴	
■ ローターソング	「我等の生業」「四つのテスト」
■ 出席報告	会員49名中23名出席
■ 出席率	57.78% 出席計算人数45名
■ 修正出席率	2月25日 95.56%
■ スピーカー	鮎川浩一さん

会長挨拶 **会長 岩田 宏**
 去る 3 月 3 日木曜日に名鉄グランドホテルに於いて、2015-2016 年度地区審議会が行われました。審議内容は以下の通りであります。



今回の地区審議会は昨年の地区大会後に RI より地区ガバナーの任務に関する理事会決定事項(69.030.7.財務報告の不履行)の通達を受け開催されました。もとより当 2760 地区は RI 細則第 15.060.4 項に従い正当に財務報告を行ってききましたが、インドのある地区において財務報告が不備であったため、今回の細則が追加されました。よって当地区においても急遽地区審議会を開催することとなりました。

地区監査委員会とは別に地区監査役に公認会計士の森恒夫氏(名古屋瑞穂 RC)が就任(任期、本年度より3年間)が全会一致で可決されました。

その後、田嶋好博パストガバナーよりゾーンについてのお話がありました。※

現在、日本は第 1~3 のゾーンに分けられており、2016 年 1 月 17 日現在、第 1 ゾーンが 28479 人、第 2 ゾーンが 27940 人、第 3 ゾーンが 32382 人であります。第 10 ゾーンは韓国の 6 地区、台湾の 7 地区、香港・マカオ・モンゴルの 1 地区の混成となっています。第 10 ゾーンは現在会員数が 57616 人であります。ゾーンの編成改変が 8 年に一度開催され、本年がその年になります。ゾーンの編成は 1 ゾー

ンあたりの会員数を 32000 人~39000 人を目処としており、このままで行くと今回のゾーン改変で日本は韓国の一部と混成のゾーンになる可能性があります。現在、台湾は会員数が 33268 人で、女性会員が 10202 人であり、ここ数年で女性会員が急速に増加しています。日本も単独でゾーン形成をするために積極的に女性会員に入室していただくようにがんばりましょう。

※ゾーンとは：

国際ロータリー会長指名委員と国際ロータリー理事指名委員を選挙するために、RI 細則が定め、国際ロータリー理事会が編成した、国際ロータリー地区内のクラブ集団。ゾーンはまた研究会開催の基礎ともなる。

1995 年改正され、日本は 4 つのゾーンに分かれていたが、2009 年 7 月 1 日より 3 つのゾーンとなった。理事会は、少なくとも 8 年に 1 度、ゾーン内のロータリアン数をほぼ等しくするために、ゾーンの構成を総合的に見直すものとする。また必要があれば臨時に見直される。

アジアのゾーン数は 7、世界のゾーン数は 34 となっている。1 ゾーンあたりの会員数は約 3 万 5 千人である。

ニコBOX
<p>●本日は新会員卓話です。鮎川浩一さん、本日はどうぞ宜しくお願い致します。</p> <p>岩田会長、上野、小原、安江、吉田、安藤、今村、松尾、後藤、西川、宮崎、小菅、河原、成田、長谷川、亀井、高山、森田(敬称略)</p> <p>鮎川さん 今月は私の誕生日です。お祝いをありがとうございます。また、本日卓話担当ですので宜しくお願い致します。</p> <p>川原さん 本日、ロータリーバッジの着用を忘れました。</p> <p style="text-align: center;">本日合計 41,000円</p>

2016-17 年度地区委員会 委嘱状伝達
 次年度の地区委員会へ下記の方が出向されることになり、その委嘱状を岩田会長より伝達致しました。

国際奉仕委員 高山 進さん



会員一口メモ

「地区国際奉仕委員会について」

高山 進



新会員 卓話

「自己紹介」

鮎川浩一



RI 日本事務局 財団室 NEWS より

ポリオプラス「ポリオのない世界に向けて」

ゾーン3 ポリオ撲滅コーディネーター松本 祐二
2016年2月10日の集計ではパキスタンでの今年の初めてのポリオ患者の発生が伝えられていました。30年を超える国際ロータリーのポリオ撲滅への道は最終段階に入ったといわれて何年も経過します。取り組み始めの1985年には125カ国で年間約35万人の発症がありましたが、昨年ナイジェリアのポリオフィーの宣言が出てアフリカ大陸からのポリオも撲滅され、残る常在国はアフガニスタンとパキスタンの2カ国となり、昨年はこれらの国での74人の発症でした。

ポリオは子供たちがかかりやすい病気ですので撲滅するという活動は青少年への奉仕活動と思われがちですが、死を免れた子供たちはまひと闘いながら一生を過ごします。このため子供たちへの活動はやがては世界中への社会奉仕活動につながるといっても良いでしょう。人類の歴史の中で古代から続いていた感染症の鎖を人類の力で断ち切れたのが過去には天然痘だけでした。これに続いてポリオを撲滅させることでその予防接種を世界中が必要としなくなるのです。単に患者が発生しなくなるだけではなく、地球上の環境から野生のポリオウイルスが撲滅されるまでワクチン接種と監視活動は続きます。

当初は2000年とか、2005年とか言われていたこの活

動ですが、あと少しといわれるとこのままでいけばゴールに到達するという意識が働いて活動にブレーキがかかってしまったわけではないのですが、当初の予想よりも達成が遅れています。ロータリーは国連の関係団体であるWHO、ユニセフなどとポリオの撲滅に関しての取り決めをしています。いわば国際社会との約束です。この約束を反故にすることはロータリーの信用を失うことでもあります。国際社会の様々な問題や紛争で撲滅活動が影響を受けたことは否めませんがもう一度初心に戻ってポリオの撲滅に取り組みましょう。

2013年の手続要覧の第12章 ポリオプラスには「ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムであり、撲滅の認定が達成されるまでは、ほかのすべてのプログラムに対して優先される」(ロータリー章典40.010.)と記載されています。

【野生株によるポリオ症例数】

ポリオ	国	2016年1月1日 ～2月24日	2015年 (通年)	2014年 (通年)
常在国	パキスタン	2	54	306
	アフガニスタン	0	20	28
常在国 以外	ナイジェリア	0	0	6
	赤道ギニア	0	0	5
	イラク	0	0	2
	カメルーン	0	0	5
	シリア	0	0	1
	エチオピア	0	0	1
	ソマリア	0	0	5
	世界合計	2	74	359

ハイライトよねやま 191号

(米山記念奨学会ニュース WEBより抜粋)

内閣府による立ち入り検査を受けました。

2016年1月13日、ロータリー米山記念奨学会事務局で、公益財団法人移行後初めての立入検査を受けました。検査官は公益法人行政担当室政策企画調査官および上席審査監督調査官の2人で、当財団からは三井章義副理事長および岩邊俊久事務局長、事務局職員が立ち会いました。

最初に、事業概況等について説明を求められ、三井副理事長から米山梅吉氏および財団設立の経緯と歴史について、続いて岩邊事務局長から、事業内容と活動概要等について説明を行いました。検査では、岩邊事務局長と事務局職員が質問内容に応じて回答しました。

検査終了後の口頭による講評では、文書で通達すべき事項はなく、奨学団体として適正な管理運営がされているとの評価を受けました。ただし今後の法人運営に関する検討課題がいくつかあげられましたので、検討し改善してまいります。

次回例会のご案内

◎3月17日(木)第989回例会 例会変更「職場見学」
養命酒 駒ヶ根工場ほか見学

◎3月21日(月・祝)第990回例会 例会変更
「名古屋みなとRC創立50周年式典」にっぽん丸にて